

原木及び木材製品の流通に関する見通し調査（令和8年3月実施分）

1. 調査対象
2. 調査実施時期
3. 調査の内容
4. 企業判断指数の算出方法
5. 調査結果(回答工場数:74社 / 回答率:84.1%)
- 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m3以上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:88)
- 令和8年3月
- (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査
- [(回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%))-(回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%))]
(最大値100/最小値-100)]

【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)						
調査時点	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3	2026.4-6	2026.7-9
R7.6	-15	-15	-15	-	-	-
R7.9	-	-12	-9	-9	-	-
R7.12	-	-	-25	-17	-14	-
R8.3	-	-	-	-36	-29	-40
原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m3)						
	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3	2026.4-6	2026.7-9
当年	189,101	201,656	152,291	-	-	-
(前年)	203,910	184,018	160,922	182,138	189,101	201,656
対前年比	93%	110%	95%	-	-	-

(概況)
原木在庫は前年を下回る見通し。地域や工場によって大きく差があり、カラマツと同様、在庫が不足しているとの声も。

(回答企業の主なコメント)
全体的に原木不足が目立つ/昨年比8割くらいの在庫量/出材見込みも少ないため、原木不足がみこまれる/原木の入荷は前年並み/町有林から入る見込みが立っている/トドマツの搬出は順調である

【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)						
調査時点	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3	2026.4-6	2026.7-9
R7.6	-37	-27	-35	-	-	-
R7.9	-	-40	-43	-45	-	-
R7.12	-	-	-39	-37	-39	-
R8.3	-	-	-	-38	-35	-32
原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m3)						
	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3	2026.4-6	2026.7-9
当年	203,681	203,242	213,942	-	-	-
(前年)	214,229	206,088	214,997	194,977	203,681	203,242
対前年比	95%	99%	100%	-	-	-

(概況)
製品荷動きは前年を下回る見通し。梱包材・仕組材の動きは前年並みである一方、建築材の需要減を指摘する声も。

(回答企業の主なコメント)
製品は梱包を主体に前年並みの動き/カラマツの入荷が不足気味のため、今後トドマツ製品の割合を増やしていく/小ロット仕組材が増えており忙しいが、販売量は昨年並み/建築材のニーズが今一歩高まらない

【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)						
調査時点	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3	2026.4-6	2026.7-9
R7.6	-36	-41	-37	-	-	-
R7.9	-	-59	-48	-26	-	-
R7.12	-	-	-93	-75	-59	-
R8.3	-	-	-	-76	-73	-60
原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m3)						
	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3	2026.4-6	2026.7-9
当年	185,872	151,011	111,886	-	-	-
(前年)	244,649	233,392	194,918	198,468	185,872	151,011
対前年比	76%	65%	57%	-	-	-

(概況)
引き続き原木在庫は前年を大きく下回る見通し。不足感を感じる工場が多く、中には入荷の見込みが立っていない工場も。

(回答企業の主なコメント)
原木の不足感は否めない/依然として入荷の見込みが立たず、奪いあいとなる見込み/カラマツの採材が悪い/原木の入荷は少ないが、町有林からの入荷予定で何とか間に合う/原木の入荷は前年並み

【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)						
調査時点	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3	2026.4-6	2026.7-9
R7.6	-26	-37	-27	-	-	-
R7.9	-	-21	-28	-36	-	-
R7.12	-	-	-11	-16	-26	-
R8.3	-	-	-	-10	-20	-10
原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m3)						
	2025.4-6	2025.7-9	2025.10-12	2026.1-3	2026.4-6	2026.7-9
当年	188,250	191,272	178,010	-	-	-
(前年)	190,253	190,679	198,049	179,425	188,250	191,272
対前年比	99%	100%	90%	-	-	-

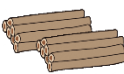
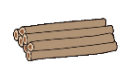
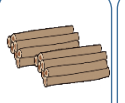
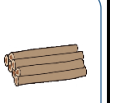
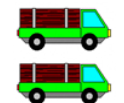
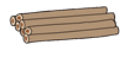
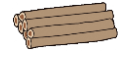
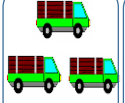
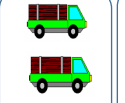
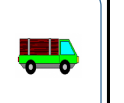
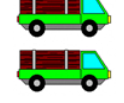
(概況)
製品荷動きは前年を若干下回る見通し。製品需要はあるものの、原木不足が生産に影響を及ぼしているとの声も。

(回答企業の主なコメント)
ラミナ・梱包・パレットと、仕事はほぼ順調/製品の動きは前年並み/現状は悪くないが、今後の値上げの状況がどう動くのかは不明/原木が薄く生産調整をかけている/原料不足のため思うように製品が作れない状態

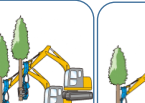
道内の木材需給の見通し（令和8年3月調査分）

—令和8年6月公表—
北海道水産林務部林務局林業木材課
北海道森林管理局森林整備部資源活用第一課

原木在庫・製品荷動き 前年同時期と比較した製材・合板工場の見通し（原木及び木材製品の流通に関する調査（北海道）による）

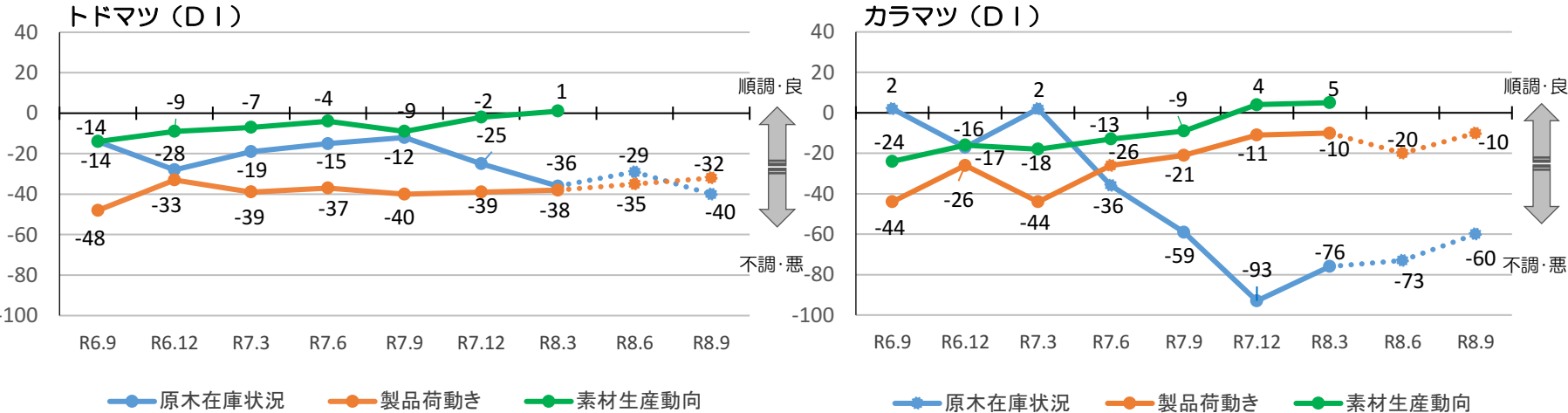
トドマツ	《1～3月》 	《4～6月》 	○製材、合板工場の「原木在庫」は前年並みとなっており、4月以降は前年を下回る見通し。	《凡 例》 《原木在庫》  《前年を上回る》  《前年並み》  《前年を下回る》
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量の判断では前年並みとなっており、4月以降は前年を下回る見通し。	
カラマツ			○製材、合板工場の「原木在庫」は前年を大きく下回っており、4月以降は前年を大きく下回る見通し。	《製品荷動き》  《前年を上回る》  《前年並み》  《前年を下回る》
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量の判断では前年並みとなっており、4月以降は前年を下回る見通し。	

素材生産動向 前月と比較した林業事業体の見通し（素材生産動向調査（北海道森林管理局）による）

トドマツ	《1～3月》 	《4～6月》 	○素材生産動向は、「順調」19%、「並み」65%、「不調」16%となっており、 <u>並みの見通し</u>	《凡 例》 《順 調》  《並 み》  《不 調》 
カラマツ			○素材生産動向は、「順調」28%、「並み」55%、「不調」17%となっており、 <u>並みの見通し</u>	

素材生産と製材・合板工場の原木在庫・製品荷動きのDI
○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数
○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し

※「判断指数（DI）」＝（「順調・良い」とした比率（％））－（「不調・悪い」とした比率（％））

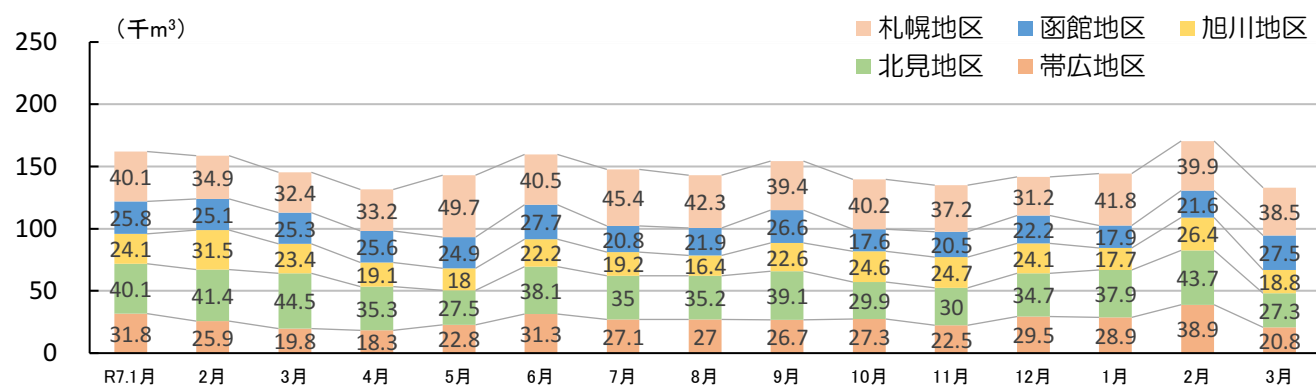


《参 考 情 報》

注：回答のあった北海道登録林業事業体の数値で全道の素材生産量の合計数値ではありません。

素材生産量の推移

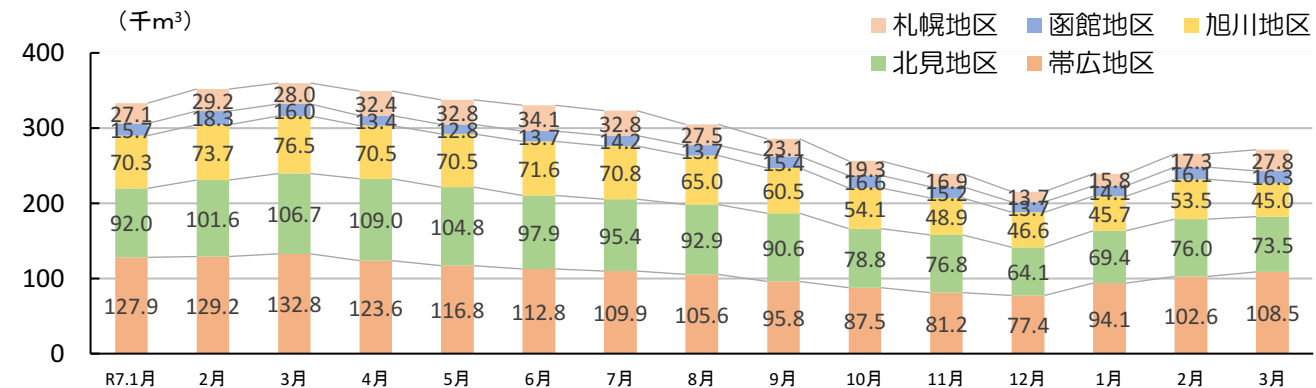
・3月の素材生産量は先月比37.6千m³減の132.9千m³
・4月の素材生産量は、4.6千m³減の128.3千m³の見通しで、旭川地区、帯広地区、函館地区で減る見通し



出典：素材生産動向調査（北海道森林管理局）による

製材工場の原木在庫量の推移

・3月のトドマツ原木在庫量は前年同月を大きく下回り、原木消費量は前年同月並みの見込み
・3月のカラマツ原木在庫量は前年同月を大きく下回り、原木消費量は前年同月並み見込み



出典：製材工場動態調査（北海道）による

注：道内のカラマツ、トドマツ製材工場の合計数値でR8.1～3月は速報値でエゾマツを含む

素材生産と原木在庫・製品荷動きのDI（地区別）

○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し
○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数

